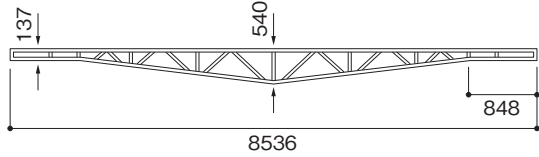


# 梁 枳

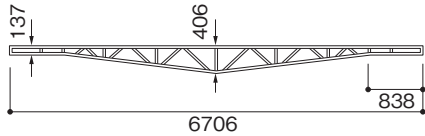
四

梁 枳

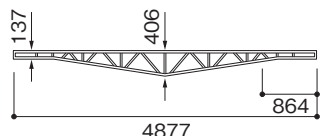
## 梁 枳



4S(A-146)



3S(A-147)



2S(A-148)

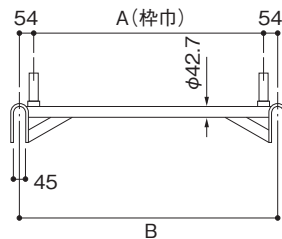
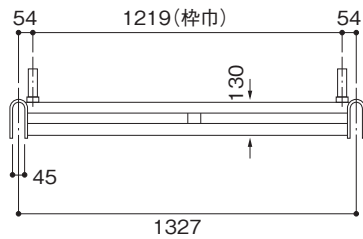
記 号	使用スパン	積載荷重 kN(t)	質量 kg
4S (A-146)	4スパン	9.8 (1)	56.0
3S (A-147)	3スパン	9.8 (1)	42.8
2S (A-148)	2スパン	9.8 (1)	30.0

\*開口部上方の足場の全積載荷重は1000kg以下として下さい。  
\*開口部の寸法は巾4スパン、高さ3層以下として下さい。  
\*枳組足場の高さは、地上から30m以下として下さい。

セット数量

使用スパン	梁枳	梁渡し	隅梁受	方杖
4スパン	2	3	4	4
3スパン	2	2	4	4
2スパン	2	1	4	4

## 梁 渡 し



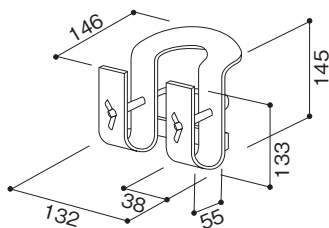
記 号	質量 kg	標準適用建枳
A-150	8.9	A-4055B

記 号	A mm	B mm	質量 kg	標準適用建枳
A-152	914	1022	5.2	A-3055A
A-151	762	870	4.9	A-2655A
A-153	610	718	4.3	A-6117SK
A-154	410	518	4.1	K-4117

隅梁受

A-1453

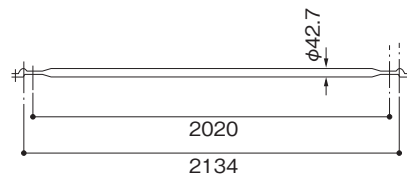
●質 量 …… 2.6kg



方 杖

A-1471

●質 量 …… 6.3kg



\*開口部の巾が3スパン・4スパンの場合は、梁渡しの取付作業には方杖を使用して下さい。  
\*クランプはφ42.7専用です。

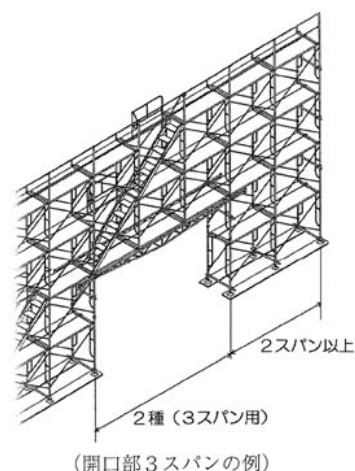
# 施工方法と注意事項（梁枠）

梁枠等を用いた開口部の寸法は、巾は4スパン以下、高さは原則として3層以下とします。

梁枠等を用いて開口部を構成する場合は、梁枠の種類に応じ次の表により開口部端の支持部から外方に枠組足場を設けます。

ただし、第2種及び第3種にあつてこれより難しいときに、梁枠支持部の建枠に補強等の措置を講ずるときは、この限りではありません。

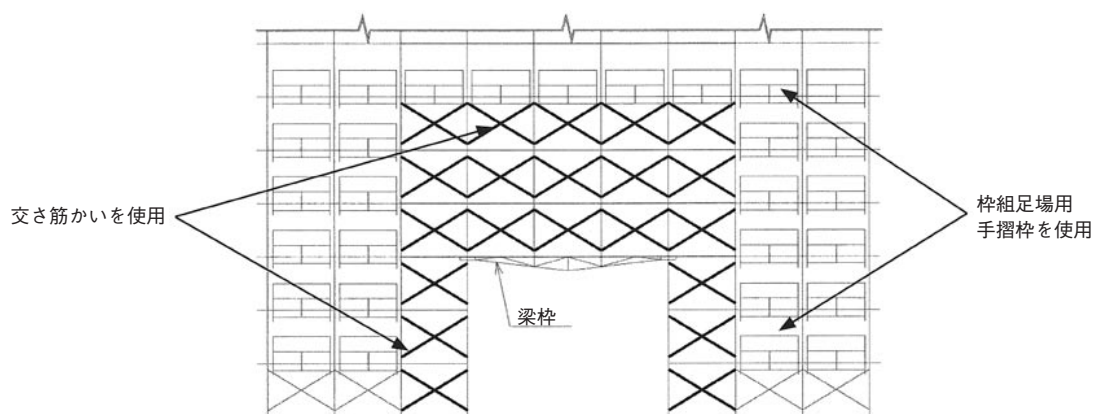
梁枠の種類	開口部端の支持部からの外方へのスパン数
3種（4スパン）	3スパン以上
2種（3スパン）	2スパン以上
1種（2スパン）	1スパン以上



手摺先行工法により組立て及び解体を行う場合等で、交さ筋かいの代わりに枠組足場用手摺枠を用いる場合は、梁枠直上及び梁枠の両端両構面には次表に従って、必ず交さ筋かいを設置して下さい。

梁枠上の交さ筋かいを必要とする層数

梁枠上の枠組足場の全層数	梁枠直上及び梁枠の両端の両構面に交さ筋かいの設置が必要となる層数
1～4	1以上
5～8	2以上
9以上	3以上



梁枠上の層数が9層以上の場合の例図

梁枠等を用いて開口部を設ける枠組足場の使用管理については、労働安全衛生規則に定めることのほか次によります。

- a 梁枠等で構成された開口部上方の足場の全積載荷重<sup>\*1</sup>は、1000kg以下とします。
- b 梁枠の見やすい箇所に積載荷重を表示します。
- c 梁枠等で構成される枠組足場の各部に損傷、変形等が認められるものについては、その程度により修理、部品交換、使用の中止等の必要な措置を講じます。
- d 開口部端の支持部から外方のスパン内においては、簡易クレーン、建設用リフト等を設置できません。
- e 梁枠は巻上げ機等による荷のつり元として使用できません。

<sup>\*1</sup> 梁枠等の上に組み立てた、枠組足場の建枠、交さ筋かい、床付き布枠、脚柱ジョイント、アームロック、巾木、メッシュシート等の足場を構成する部材の重量を含みません。